

(様式2(1))

事業所名 グループホーム陽だまり

目標達成計画

作成日: 平成26 年 10 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	利用者に個人差が生じ、全員で何かを行うことが困難になってきた。元気な人に合わせるとそうでない人が取り残され、逆にすると元気な人が、暇を持て余す状況となっており、GHの生活をどこに合すかという点が課題となっている。	全員での行動が困難となりつつある今、個々人のADLに合わせた個別支援により一層努めていくことを目標とする。	外出困難となった利用者は、居室の窓を開け放ち外気に触れて頂くことにより外出気分を味わっていただく。外食困難となった利用者には、隣接している食養庵陽だまりにて、スタッフの手作りの食事を、趣のある器で食していただくことにより、外食気分を、堪能していただく。	1～3ヶ月
2	4	運営推進会議における、家族の出席が皆無である。	ご家族のうち、一人ずつを、順番に家族代表を依頼し、運営推進会議への参加を呼びかけていく。	個別に連絡をとり、運営推進会議の意義と必要性を話し、理解いただくと共に、年6回は無理でも、少しでも参加いただけるように働きかけていく。	12ヶ月
3	2	地域とのつながりと信頼関係は出来つつありますが、事業所としての主体的な参加ができていない。	認知症の勉強会・相談会を計画し、地域の方の参加を呼びかけたい。	定期的にて認知症の悩み相談会、グループホーム見学会を実施します。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。